

県

測量業務で実習

土木技術職員研修開く

徳島県は3日、毎年恒例の「2019年度土木技術職員研修（新採後期・新任主任主事）」を徳島県測量設計業協会青年

部（藤田達也会長）を講師に招いて県庁などで行い、現場施工管理に必要となる測量業務などについて学んだ。写真。

研修には、県職員をはじめ県内市町村から土木担当職員合わせて26人が参加。午前中に基準点測

量の種類や区分・方法などを受講した後、午後からは徳島市川内町の徳島東環状線高架下に場所を移して5班に分かれて実習を開始。青年部会員20人が講師として立ち会い、トランシット（トータルステーション）を据え付ける時の重要なポイント、機能などを一人一人に分かりやすく解説した。

